

- 問1 第一次世界大戦の勃発に伴い、ヨーロッパ連合国からの軍需品などの注文が相次いだことによって、日本の輸出額が輸入額を大きく上回り発生した好景気を何と呼びますか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
1. 平成景気                      2. バブル景気                      3. 大戦景気                      4. 特需景気
- 
- 問2 1919年のパリ講和会議において、第一次世界大戦の戦後処理としてドイツとの間に結ばれた条約の名称を記す空欄を含む資料があります。この空欄に入る名称と、その条約が敗戦国であるドイツに課した具体的な内容の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
1. ベルサイユ条約：領土の割譲、多額の賠償金の支払い、軍備の制限      2. ワシントン条約：海軍の主力艦の保有制限と太平洋の現状維持      3. ポツダム宣言：軍隊の無条件降伏と軍国主義の除去      4. サンフランシスコ平和条約：日本の独立承認と主権の回復
- 
- 問3 1918年に富山県の海岸沿いの町から始まり、全国へと広がった「米騒動」の結果、寺内正毅内閣が退陣した後に成立した「原敬内閣」について説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 「閣族打破・憲政擁護」をスローガンとする第一次護憲運動が高まり、軍人出身ではない首相が立憲改進黨の党員を中心に組織した内閣となった。      2. 衆議院で第一党であった立憲政友会の総裁が首相に就任し、陸軍・海軍・外務大臣以外の大臣の多くを党員が務める本格的な政党内閣となった。      3. 1925年に普通選挙法と治安維持法を同時に成立させ、満25歳以上のすべての男子に選挙権を与えた、憲政の常道における内閣となった。      4. 自由民権運動の盛り上がりを受けて、国会開設の勅諭が出された後に成立した、日本で最初となる内閣制度に基づいた内閣となった。
- 
- 問4 1920年代から1930年代にかけて、日本からブラジルをはじめとする南米への移民が急増しました。この背景となった当時の日本の社会状況を説明する文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 宮城県公立入試 類似)
1. 日露戦争の膨大な軍費をまかなうための増税が行われ、それに反対する農民たちが地租改正反対一揆を全国各地で展開したこと      2. 関東大震災や世界恐慌による景気の悪化から、都市部で失業者が増大し、農村では生活苦から小作人と地主の対立である小作争議が激化したこと      3. 文明開化による西洋文化の流入により、生活様式が劇的に変化したことで、日本古来の伝統的な農業経営が完全に崩壊したこと      4. 高度経済成長期に入突したこと都市部の過密化が進み、政府が労働力の分散を目的として海外への移住を強力に推し進めたこと
- 
- 問5 第一次世界大戦後の国際社会において、発足当初は国際連盟の常任理事国として中心的な役割を担っていましたが、1930年代に入ると満州事変などをめぐる対立から連盟を脱退した国はどこですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. ドイツ                      2. ソビエト社会主義共和国連邦                      3. 日本                      4. アメリカ合衆国
- 
- 問6 第一次世界大戦期の日本において、工業生産額が農業生産額を上回るという逆転現象が起きた背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国がアジア市場から後退したため、日本製の工業製品の輸出が拡大したから      2. 日露戦争の賠償金をもとに、官営の八幡製鉄所を中心に重化学工業が飛躍したから      3. 輸出を伸ばすために政府が農業の民営化を進め、農作物の価格を意図的に下げたから      4. 地租改正によって農村の余剰労働力が都市に流れ込み、農業生産が衰退したから
- 
- 問7 第一次世界大戦後の国際情勢に関連して、1919年のベルサイユ条約締結時におけるドイツの状況を説明した文として、適切なものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 社会主義革命の影響を懸念した戦勝国側の配慮により、賠償金の支払いは猶予され、直ちに国際連盟への加盟が認められた。      2. 巨額の賠償金や軍備制限などの厳しい制裁を受けたが、この時点では国際連盟への加盟は許されず、国際的に孤立する形となった。      3. 軍事力の制限や領土の割譲といった過酷な条件を受け入れたが、平和への貢献が評価され、国際連盟の原加盟国となった。      4. 賠償金の支払い義務が生じたものの、ウィルソンが提唱した「民族自決」の原則により、全ての植民地の保持が認められた。
- 
- 問8 第一次世界大戦後の1920年に国際連盟が発足するなど、世界的に平和への機運が高まる中で、1921年からアメリカの呼びかけにより開催された国際会議について、その内容として正しいものを選びなさい。 (2020年 大分県公立入試 類似)
1. 世界恐慌による不況を乗り切るため、植民地を持つ国々が排他的な経済圏を形成した。      2. サラエボ事件を契機に始まった大戦を終結させるため、各国の代表がフランスのバリに集まった。      3. 第一次世界大戦の戦後処理を目的として、ドイツに対して巨額の賠償金を課す条約を締結した。      4. 海軍の軍備制限が決められ、アジア・太平洋地域における国際協調の枠組みが作られた。
- 
- 問9 1918年に米騒動が起きた後の大正時代において、爵位を持たない「平民宰相」として国民から期待され、日本で初めての本格的な政党内閣を組織した人物は誰ですか。 (2018年 静岡県公立入試 類似)
1. 犬養毅                      2. 原敬                      3. 大隈重信                      4. 桂太郎
- 
- 問10 国際連盟の設立時における日本の位置づけについて、その制度的な仕組みや背景を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦で主要な戦勝国となった日本は、国際連盟の規約に基づき、地位の入れ替えがない常任理事国として運営に参画した。      2. 日本は国際連盟の本部があるニューヨークで、アメリカ、フランス、イタリアとともに四国委員会を組織した。      3. 日本は当初オブザーバーとしての参加であったが、後にイギリスやソ連の推薦を受けて常任理事国へと昇格した。      4. 当時の日本は、加盟国が約190か国に及ぶ国際連盟の中で、唯一のアジアの非常任理事国として軍縮を提唱した。
- 
- 問11 大正デモクラシーの時期には、民主主義を求める動きとともに、女性の地位向上や参政権を求める社会運動が活発になりました。雑誌『青鞥』を創刊し、「元始、女性は実に太陽であった」という言葉で知られる女性運動の指導者は誰ですか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 市川房枝                      2. 与謝野晶子                      3. 平塚らいてう                      4. 津田梅子
- 
- 問12 第一次世界大戦の影響によって発生した「大戦景気」において、日本の輸出額が短期間で飛躍的に増大した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 第二次世界大戦の勃発により、アメリカから大量の軍需品の注文が舞い込んだから。      2. 世界恐慌によって欧米諸国の経済が混乱し、安価な日本製品が国際市場を独占するようになったから。      3. ヨーロッパ諸国が戦争に集中し生産能力が低下したため、アジアなどの市場で日本製品が普及したから。      4. 日清・日露戦争の勝利で得た多額の賠償金を資金として、重化学工業の民営化が一気に進んだから。